

国連環境計画（2023年12月）

【What's cooking (最新の動向)】 従来の畜産物に代わる特定の新規食品により想定される
影響のアセスメント（GFIによるサマリー） [レポートの全文を読む](#)

代替タンパク質の概要

重要なポイント：「新規の植物性食肉、細胞性食肉、発酵由来の食品は、従来の多くの動物性食品（ASF）の生産による環境への負荷を低減するうえで鍵となり得ます。同時に、人獣共通感染症や抗微生物薬耐性のリスクを低減することが期待できます。」

環境 「畜産物（動物由来の排出物、飼料、土地利用の変化、エネルギー多消費型の世界的なサプライチェーンを含む）は、食品関連排出量の約60%、そして世界全体の排出量の14.5~20%を引き起こしています。
（...）新規のASF代替食品はすでに、従来の多くの畜産物と比較して、環境への負荷を大幅に低減できる可能性が示唆されています。」

グローバルヘルス 「畜産における広範かつ過剰な抗生物質の使用により、動物と人間の両方において抗微生物薬耐性の広がりが加速しています。世界中で販売されている抗微生物薬の73%が畜産農業で使用されています。畜産の拡大と工業化もまた（...）人獣共通感染症が発生するリスクを高めています。新興感染症の大部分（70%）およびほぼ全ての既知のパンデミック（インフルエンザ、HIV/AIDS、新型コロナウイルスなど）は人獣共通感染症です。」

この報告書では、代替タンパク質が味と価格の面で同等の水準に達するためには、公的資金の提供と適切な規制が必要であることが強調されています。「新規ASF代替食品の生産と普及を促進するには、食品生産者が市場の有益性・信頼性を認識し、従来の同等品と味・価格で競争できるような製品を提供することが不可欠です。そのために各国政府は、研究や商品化に向けた資金提供、適切な規制枠組みの構築等の手段を講じることが求められています。」

公的な研究開発資金 「各国政府による新規代替食品の商業的な成功に向けた支援策としては、研究（特にオープンソースの研究）や商品化へ資金提供などが挙げられます。」

商品化に向けた政府支援 「各国政府は、生産設備やインフラの整備において生産者をサポートすることができます。生産者の関心を高めるための税金還付や直接の財政投資、融資保証といった政策手段は、生産施設の初期資本コストを削減するなど、市場参入への障壁を低減させ、競争の促進にも繋がります。」

適切な規制の枠組み 「各国政府は（...）食品の安全性を明白かつ効率的な方法で保証するための規制および承認の枠組みを構築することができます（...）（このような）枠組みは、企業がASF代替食品のような新規食品を適時に市場投入できるようにするうえで極めて重要です。」

国際協力 「共同研究、規格の開発や調和、国際的な支援などを通じた国際協力も、新規代替食品の普及を促進します。」

影響に関する調査 「前向きな結果をもたらすためには、公平であり、エビデンスに基づいた政策が必要です。これらの技術がもたらす影響や、他の環境・健康・社会的システムとの相互作用に関する理解は深まり続けており、その中で、特にオープンソースの研究など、さらなる研究の必要性が浮き彫りになっています。」